

改 革 16

大野 英雄 議員



1. 大網駅南地区の整備事業
大網駅南地区整備事業の総括

問 本年度中に、基本構想の策定を行ない地区の将来像や市街地整備のコンセプトを織り込む。整備計画ではバス、タクシーや河川管理者等による協議会の開催を検討する。

2. ふるさと納税について

問 具体的に何を実施しているか。

答 インターネット申込み、電子決済の運用、謝礼品を21品目から57品目に拡充した。職員の配置を含め市内推進体制を整えて進める。

3. まちづくり条例の制定について
問 今後、どのように進めるか。

答 市民、市民活動団体、行政による協働サロンを開催する方向で検討。

4. 住民協働事業について

問 笑いヨガの行政支援について

誰もが安心して暮らせる
市政を目指して

秋葉 好美 議員



問 猛暑・熱中症対策について伺います。

答 熱中症予防に関する取り組みについては、広報やホームページの掲載、防災無線による放送などにより、注意を呼びかけております。熱中症が心配されます高齢者に対し高齢者のお宅に訪問活動され民生委員や保健推進委員又高齢者支援課と連携し、熱中症の予防に努めております。

問 次に認知症の予防について伺います。認知症は誰でもなり得る病気です。高齢化が進み、今後ますます身近な病気として、もはや特別な病気ではなく誰もが当事者となり得る老いの一つの形といえます。

答 認知症の予防は、生活習慣病の予防や脳を使った運動、人とのコミュニケーションが有効であると言わ

果が得られたので、目下は、第三者による事業仕分けは考えていない。問 数年前と比べて事業仕分けは各段に進歩していることを知っているか。

副市長 財政状況が極めて悪い自治体を実施している。自治体に関係のない、将来に対して責任を負わない人の事業仕分けは、自治体にとって何になるのか、良く分からない。

スキルアップセミナー

Table with 3 columns: Date, Curriculum, Instructor. Includes dates like 10月25日 and 11月22日, and names like 金坂市長 and 千葉大 関谷准教授.

い回復期の子どもを親に変わって世話をするという意味でございませう。

答 平成24年4月1日開設され3年目になり、開設当時は利用者は残念ながらございませうでした。しかし市では保護者が利用しやすく環境を整え、保育園側と協議のうえ、平成25年8月から利用時間の延長や市内在住の保育園児の利用料無料化又手続きの簡素化の見直しを図ったところ年々上昇傾向にあります。平成25年延べ45人、平成26年延べ80人、平成27年7月時点で延べ43人です。病後児保育の認知度がさらに高まるよう保護者が正しく理解し、有効な利用促進につながるよう取り組んでまいります。

問 18歳の選挙権の取り組みについて伺います。

答 民主政治の仕組み・政治の政党の役割、多数決の原理と運用のあり方の理解等を、発達段階に応じた主催者教育が実施されております。

「市政はすべて市民の為にある」
議員は住民の公僕であるのだ。

石渡 登志男 議員



市民や職員や議員の皆様方、温かいご支援や力添いをいただき、今日の私があると思っております。私としても幸せな男だと思えます。私の58年という人生の中で時間の経過が一番早かった4年間でした。何でもございとお話しをしますかと言いますと、後援会も形だけ、後ろには沢山の方々がおられる大きな分譲地もありませう。私にはすべてがないない尽くしです。ですから、この場にはもう二度と戻れないかもしれないという思いがあります。だからこそ、深くお礼を申し上げます。よって本日は、万感の思いを込め、任期最後の一般質問を行いたいと思っております。

問 大網白里市民の津波犠牲者を生むという事は取り返しがつかなくなりますが、本市は必ず衰退へと向かいます。条件の整った所から避難施設

を迅速に行うという事ならば、四天木のあの市有地が一番ベストです。もう1回お聞きします。これを先につくってみたいらどうですか。

答 候補地として位置づけられておりますので、地元の方々や協議しながら意見がまとまり次第、設置に向けて事業を進めていきます。

問 補助金の原資は、税金です。市民の方が汗水流して働いてきた貴重なお金、それを私たちは決して忘れてはなりません。補助金に対して3年という終期を設定し、補助金交付について基準の明確なルールを定める事が大事です。

答 補助金交付基準を定め、その中に3年という終期を規定しました。これで定期的に検証する事ができます。

問 駅前広場歩道の屋根の設置です

季美の森の温水プールを活用した新たな介護予防事業について前向きに検討していただきたい

一色 忠彦 議員



問 これまで介護保険の二次予防事業で実施していた通所型介護予防事業は、新しい介護予防日常生活支援総合事業に移行するとともに多様化を図ることになっていくようだが、従来の4種類の介護予防教室に加え、具体的にどのような介護予防事業を考えているのか。高齢者支援課長は、季美の森にあるスポーツジムのプールを見学したので、温水プールを活用した介護予防運動教室を検討していると思われるが如何か。

高齢者支援課長 今年度は、運動、栄養、口腔、認知機能の低下を予防するため4種類の介護予防教室を実施している。今後、新しい総合事業に移行し、多様化を図る一つとしてリハビリテーション専門職等を活用した、より質の高い介護予防事業も

検討している。アンケート調査によれば、外出を控える理由として膝、腰などの痛みが多く挙げられており、こうした高齢者の介護予防として、プールを取り入れることは有効であると認識している。水中運動は、浮力により膝、腰などの関節への負担が少ないこと、利用者本人が運動量を調節できること等のメリットがある。但し、高齢者は心疾患等の持病を持つている場合も多く、そうした疾患等を十分理解した指導員や監視員等の適切な配置が必要となる。このための費用に加えて、送迎のための費用も考慮しなければいけないので、水中運動の効果と費用とを比較した上でプール利用について、具体的な内容も含めて、考えていきたい。

問 季美の森にあるこのコメスタと

が、市長は「設置します。」と言われませんでした。通勤者の方を見たいと1日でも早く設置したいと思えます。では、その進捗状況は。

答 9月3日に設計業者と業務委託契約を締結しました。いくつかの案を作成し、市民の皆様の見解をお伺いしながら、進めてまいります。

問 水道料金は非常に高い、私は山武郡市広域水道企業団と直接話しをしました。その中で統合を検討しているとの事でした。方法によっては水道料金値下げに結びつく可能性があります。各自治体の首長が、県にもっと働きかけを強めていただきたいと思います。ではその進捗状況は。

答 事業統合に向けて協議を行っており、この統合が実現しますと、用水供給料金が引き下げられるという事が見込まれています。末端給水事業体は、受水費引き上げ分を水道料金引き下げに活用する事、この事についても検討を行っております。



季美の森スポーツジムコメスタ内温水プール